

2025/09/08

国連人権高等弁務官事務所

「人権-すべての人権-は豊かな社会の確固とした基盤である。しかし、私たちの権利を損なう憂慮すべき傾向が現れている。軍事パレードから過激なレトリックまで戦争を支持するプロパガンダがあちこちにある。暴力の賛美は国際法の深刻な侵食と相まって起こっている。国際法は平和、世界秩序、私たちの生活の基盤である。しかし、国際法を無視したり、そこから距離を置いたりする政府もある。国家が法律違反を無視すれば、それはやがて常態化される。国家が法律を一貫性なく適用すれば、法秩序が損なわれる。世界中で、何の責任も問われないまま、ジュネーブ条約の違反が続いている。もう一つの憂慮すべき傾向は、多国間の枠組みや機関、あるいは国際協定からの脱退だ。10 年前にすべての国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」を軽視したり批判したり動きにも憂慮する。国際的、地域的な枠組みは完璧からは程遠いが、国家はそれらを解体するのではなく、強化し、改革すべきだ。世界中で、市民活動が制限され、反対の意見が封じられ、平和的抗議が弾圧されている。各国が差別に対処し、防止する取り組みを後退させるなか、マイノリティの人びとに対する攻撃は増えている。人権は、私たちの思い込みに疑問を投げかけ、盲点を明らかにし、批判的内省を促すものである。私たちは共に、差別やまやかさに立ち向かい、自由、平等、正義における 80 年にわたる進歩を守らねばならない」。

*人権理事会 60 会期は 9 月 8 日に開会した。10 月 8 日に閉会予定である。

【記事本文】 [HR Türk updates the Human Rights Council: “We need to safeguard eighty years of progress on freedom, equality and justice”](#)

北京宣言及び行動綱領 30 周年にあたり、ナダ・アル＝ナシフ国連人権副高等弁務官の挨拶

2025/09/08

国連人権高等弁務官事務所

「北京宣言及び行動綱領は女性の権利とジェンダー平等において大きな転換点となった。しかし、多くの分野でジェンダー平等の進展が遅れている。未然に防げる原因によって 2 分間に 1 人の妊産婦が亡くなり、パートナーや近親者による暴力によって 10 分間に 1 人の女性が命を落としている。議会における女性議員の割合はわずか 26.9%である。女性は男性に比べ、2.5 倍の時間を無償のケア労働に費やしている。障がいのある女性、高齢女性、移住者女性、民族的、宗教的、言語的マイノリティの女性、レズビアン、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックスの女性、その他の周縁化された女性たちはより不利益を被っている。さらに私たちは今、ジェンダー平等、女性と女児の権利と自己決定権に対する反動を目の当たりにしている。一方、条約機関はインターセクショナリティ（交差性）、暴力の構造的な原因、意思決定への女性の参加、性と生殖に関する健康について一般的勧告/意見を出している。また、国連特別報告者の貢献も重要である。さらに私たちの事務所は「妊産婦の死亡・疾病の除去に人権ベースのアプローチから取り組むためのテクニカルガイダンス」の[アップデート](#)を作成し、人権理事会 60 会期に提出する。私たちは何が効果的か、何をしなくてはならないかを知っている。北京+30 にあたり、世界中の女性と女児の夢や希望を実現する革新的な行動を通じて、1995 年に掲げた約束を成し遂げる決意を新たにする」。

【記事全文】[Commemoration of the 30th Anniversary of the Beijing Declaration and Platform for Action: Following on CSW 69 and Beijing+30 Action Agenda](#)

社会権規約委員会第 78 会期始まる

2025/09/08

国連人権高等弁務官事務所

社会権規約委員会第 78 会期が 9 月 8 日に始まった。同会期では、チリ、コロンビア、ラオス、オランダ、ロシア、ジンバブエの定期報告書が審査される。開会挨拶の中で、国連人権高等弁務官事務所人権条約局チーフの Antti Korkeakivi は、気候変動の負の影響に対する社会権規約の中心的役割を強調した人権高等弁務官の言葉を引用した。委員会は現在、「社会権と持続可能な開発の環境的側面に関する一般的意見」草案の最終審議に入っている。国際司法裁判所の気候変動に対する国家の義務に関する勸告的意見（2025 年 7 月 23 日）では、社会権規約 12 条、22 条および同委員会の一般的意見 14 が言及された。さらに、国際人権メカニズムに影響を及ぼしている国連の流動性の問題について懸念を示した。開会挨拶の後に、新たな委員長と 3 名の副委員長が選出された。

* 前会期の後、アルバニアが個人通報制度を受入れる選択議定書を 31 番目の締約国として締結した。

【記事全文】[Committee on Economic, Social and Cultural Rights Opens Seventy-Eighth Session](#)

国連人権理事会 60 会期：市民社会と抗議活動を行う人びとを犯罪者扱いすることを止めるよう求める

2025/09/19

国連人権高等弁務官事務所

国連人権専門家、米州人権委員会の専門家、アフリカ人権委員会の専門家らは本日、[共同声明](#)を出し、ただでさえ個人の権利や自由が脅かされている現在、それらを行行使しようとする人びとを、抑圧的で懲罰的に犯罪者扱いすることを止めるよう各国に強く求めた。「集会と結社の自由に関する権利は、強靱で包摂的な民主主義を確保し、国連憲章が掲げる『すべての人の平和と人権の維持』を実現するために必要な集団的行動、参加、連帯、対話を促す。私たちは、正当に権利と自由を行行使している人びとに対し、『敵』『裏切り者』『テロリスト』『犯罪者』と烙印を押す行為を強く非難する。こうした当局の行為は、政治目的を押し進めるために、公の議論や空間を統制しようとする権威主義の一つのあらわれである。市民社会に対するスティグマの拡大、基本的自由を損なう軍の出動や治安強化、顔認証や AI 機能を備えた監視技術の恣意的で不当な使用によって、犯罪として取り締まるこうした行為はさらに強化され、悪化している。各国に対し、国際人権法に基づき、すべての人の平和的集会と結社の自由に関する権利が保護され、促進されることを求める」。

【記事全文】[UN and regional experts urge States to stop criminalizing civil society and protests](#)

2025/09/22

国連人権高等弁務官事務所

「乳幼児教育、無償の幼児教育・保育および無償の中等教育に関する権利」について、子どもの権利条約の選択議定書が作成されている。現在開催中の国連人権理事会 60 会期にリベリア、メキシコ、クロアチア、スコットランド、インドネシア出身の 5 人の若者が招かれた。5 人は、同選択議定書に関する地域協議に参加した 8,100 人を超える子どもたちを代表して、[政府間作業部会](#)に参加し、それぞれの考えを発表した。また、幼児教育と中等教育の無償化への障壁として挙げた費用、遠距離、差別、旧態依然の社会構造といった課題に対処するために、[さまざまな解決策](#)を提案した。その中には、1) 法律や政策において無償で包摂的な教育を保障すること、2) 授業料、通学費、制服代などの経費の負担を子どもたちに求めないこと、3) インフラや教員のトレーニング、インクルーシブ教育システムへ投資すること、4) 多数の困難をかかえている子どもたちを対象に財政支援を行うこと、5) 生徒会、相談、調査を通じて、意思決定プロセスに子どもたちに参加させることなどが含まれている。

【記事全文】[Children plead for early childhood care and education to be part of the right to education](#)

国連総会 80 会期：国連 LGBTI コアグループによる LGBTI の若者と未来に関するハイレベルイベントでのヴォルカー・テュルク国連人権高等弁務官の挨拶

2025/09/23

国連人権高等弁務官事務所

「若者の寛容さ復元力、創造性、楽観は、現在直面している平和、安全、人権への脅威を乗り越える支えとなります。もう一つの若者の強みは多様性です。今日の若者は、他者との違いを最も受け入れられる世代です。しかし、抑圧的な社会規範やジェンダー、セクシュアリティ、年齢、これらが交差して生じるスティグマ、ステレオタイプが若者の声を封じ込めます。ヘイトスピーチと差別が世界中で蔓延しています。ネット上で増幅される拒絶といじめが心の健康を蝕みます。全年齢層の中で若年層が最も心の不調を感じており、特にマイノリティが最も深刻な影響を受けていることが初めて報告されました。インターセックスの子どもは幼児殺しの危険にさらされたり、有害な医療処置を受けたりします。LGBTIQ+の若者は、人権活動家であることでも攻撃を受けます。憎悪を拒絶し、創造性や文化、アートを用いて自らの理想を追求する若者の姿勢こそが、公正でルールに基づく国際システムを構築するために必要です。必要なのは、抑圧ではなくエンパワメントです。差別的な法律を廃止し、保護を強化することで、安全と尊厳を取り戻しましょう。LGBTIQ+の若者のリーダーシップと参加を支援することで、信頼を回復し、民主主義を活性化させましょう。LGBTIQ+の団体と手をとって活動することで、最も支援を必要とする人びとに届くシステムを確保しましょう」。

【記事全文】 [High Commissioner Türk to the UN LGBTI Core Group: I urge all Governments to choose empowerment over oppression](#)